



# ゆもとと通信

大田区 地元の『ゆもと』

大田区議会議員(3期目)  
**大田区へ政策提言**

第10号

平成30年10月発行

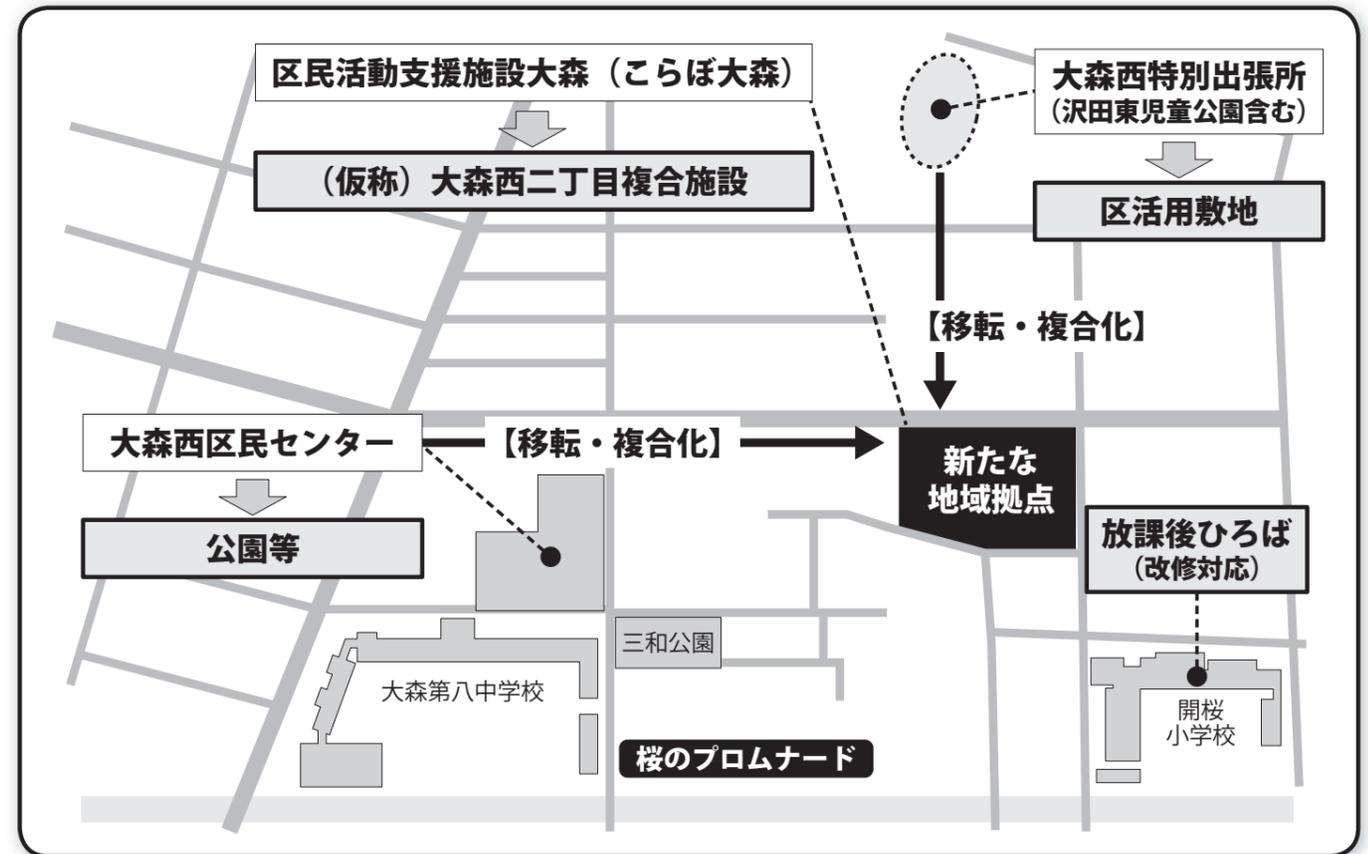
## こらぼ大森(旧大六小)の新たな活用へ

大森西出張所・大森西保育園・大森西区民センター・地域包括支援センターなどの公共施設をこらぼ大森(旧大六小跡地)に集約する事となりました。

再三に渡り、議会にて「こらぼ大森」を含め公共施設の在り方について質疑(平成28年予算・決算特別委員会 総務費 質疑・所管都市整備委員会にて)を重ねて参りました私にとりまして大きな成果と言えます。この公共施設の複合化により、老朽化した各施設の建替えが代替地の確保・仮設施設の設置と撤去・仮設施設の告知・移転作業・そして何より区民の皆様への混乱や公共施設を利用する際のご不便の軽減と共に、建替えにかかる費用と時間の大幅な縮減・縮小が図られる事となります。今日まで従来の公共施設を利用されていた皆様になるべくご不便をおかけしない様に工夫をし、より充実した新たな旧大六小跡地の活用を目指し、大田区へはたらきかけます。

### (仮称)大森西二丁目複合施設 建設スケジュール(予定)

年度	30	31	32	33	34	35	36	37
工程	基本計画	基本設計 実施設計	取壊し 工事	建設工事【I期】			建設工事【II期】	
						取壊し 工事		



▲大森西地区公共施設の再編マップ

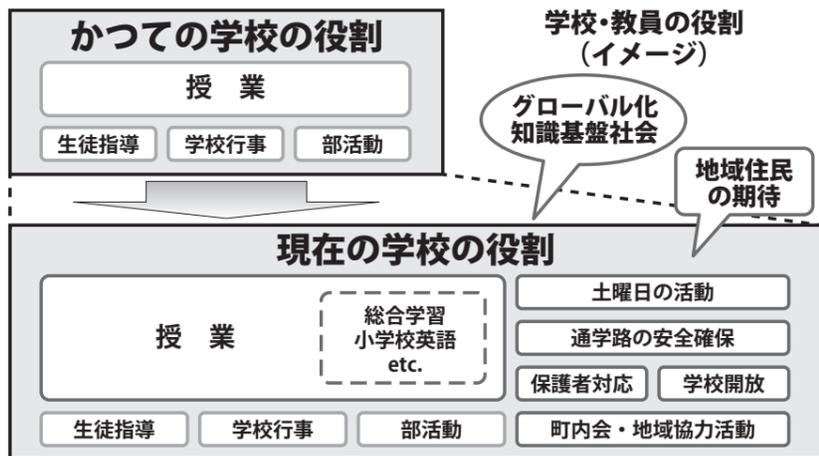
### 各施設の再編一覧表【既存施設→(仮称)大森西二丁目複合施設】

敷地	施設名	施設名
大森西特別出張所	大森西特別出張所 適応指導教室つばさ大森教室	大森西特別出張所 【(仮称)大森北四丁目複合施設】
区民活動支援施設大森(こらぼ大森)	区民利用施設(体育館含む)	区民利用施設(体育館+協働支援施設含む)
	子ども交流センター(学童保育室含む)	子ども交流センター(中高生の居場所含む) 【学童保育室→開桜小学校へ】
	子どもの学習支援事業会場	子どもの学習支援事業会場
	協働支援施設	【区民利用施設へ】
	シルバー人材センター大森西作業室	シルバー人材センター大森西作業室
大森西区民センター	大森西区民センター(体育館含む)	大森西区民センター(体育室含む)
	こども発達センターわかばの家分館	こども発達センターわかばの家分館
	大田福祉作業所大森西分場	大田福祉作業所大森西分場
	大森西保育園	大森西保育園
特養大森	地域包括支援センター大森	地域包括支援センター大森
新規施設		(仮称)大森西地区高齢者利用施設
大森西二丁目公園	公園	跡地 大規模空間(公園等) 区活用敷地
大森西特別出張所跡地		

# 教師と生徒がより向き合える学校をめざして 副校長アシスタント(新設)配置を提言し実現

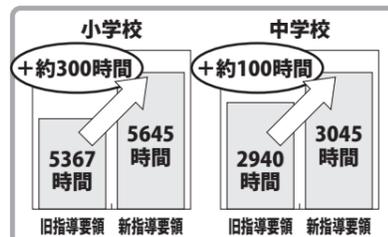
なるべく教員と生徒が向き合える学校現場を作ることを3年前の選挙公約に掲げました。学校現場を見ていて教員の働き方は(小学校PTA役員として頻りに学校を見てきた実感として)平日は20時過ぎまで校内で仕事をし、土日祝日も学校で教員を見かけない日は無いという状況でした。教員も、それ以外の仕事をされている方も同じ人間ですから、教員だけが休みなく働けるはずがありません。そこで大田区職員と大田区に勤務する教職員の精神疾患などによる休職状況を調査すると、大田区職員を上回る割合で大田区に勤務する教職員は精神疾患などによる休職者を出している実態がありました。この様な状況を生み出している原因は複合的な要因があると考えられますが、勤務時間の長さの焦点をあて、教員が夜間や休日返上で働く状況は何故なのかを調べていくと授業以外の事務作業の負担が非常に大きく、この負担は軽減されることはないが増加する傾向にあるという現状が確認できました。

## ◎学校や教員の仕事は拡大し、多様化している

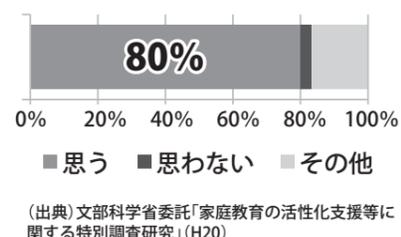


※欧米では、教員の仕事は授業が中心。生徒指導・進路指導の比重が少ない。

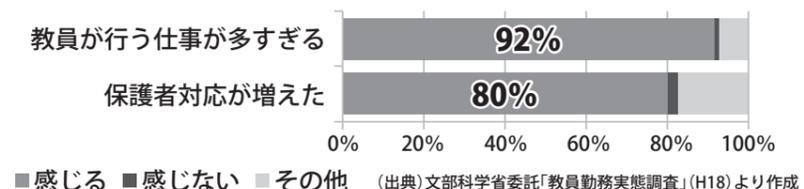
### 学習指導要領の改訂で授業時数は増加



### 8割の親が家庭の教育力の低下を実感



### 大部分の教員が仕事量や保護者対応を負担に感じている

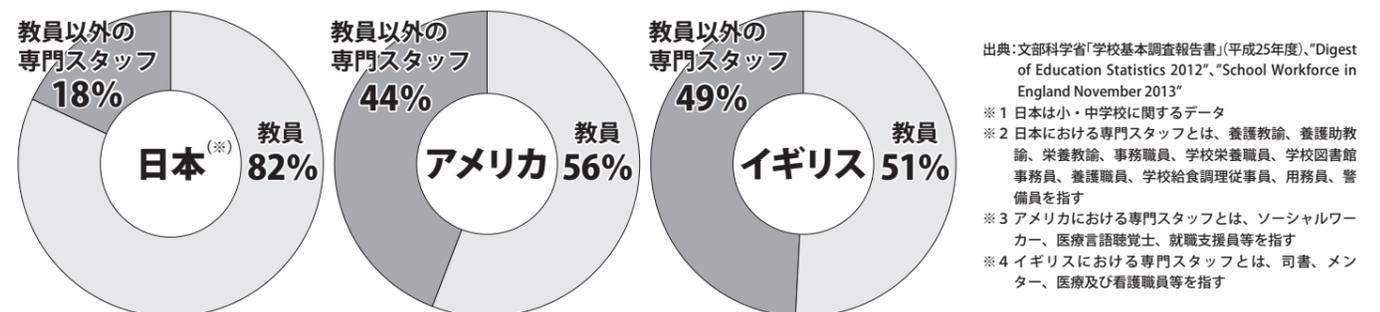


**提案** そこで教員の『授業以外の事務量軽減』を目的とした人員配置をしてはどうかという提案をして参りました。

## 結果

大田区教育委員会の理解により平成30年度4月から大田区立小中学校に副校長アシスタントというポストが新設され学校現場へマンパワーを送ることとなりました。

中学校の例ですが、欧米諸国と日本の教職員総数に占める教職員以外の専門スタッフの割合は



他の欧米諸国と比較し、日本の教育現場がいかに教員の奮闘に頼った学校運営が成されているかが解ります。財源の問題がありますから、すべて区が人件費を捻出する事は困難ですから文部科学省に対し学校運営により力強い支援を求めると共に、今回の取組を第一歩として『より教員と子どもが向き合える学校』を目指して参ります。

## 区政に対するみなさまのご意見をおきかせ下さい!

### ゆもと良太郎 プロフィール 42歳3児の父

- 昭和51年5月10日 大田区大森生まれ(A型)。大森幼稚園・大森第五小・日大三中・日大三高を経て明治大学商学部貿易コース卒。大学在学中より都議会議員秘書となる
- 平成15年4月 大田区議会議員選挙に自由民主党公認若干26歳で初出馬、初当選(5536票)。66候補者中、新人1位
- 平成19年4月 大田区議会議員選挙にて2期目の当選(5419票)
- 平成22年6月 自由民主党離党
- 平成27年4月 大田区議会議員選挙において3期目の当選(5523票)。65候補者中7位、完全無所属ではただ一人の当選者。

ゆもと良太郎  
事務所

〒143-0011 東京都大田区大森本町2-31-10  
 TEL.03-3765-1464 FAX.03-3765-1482  
<http://www.yumoryo-otacity.jp> [info@yumoryo-otacity.jp](mailto:info@yumoryo-otacity.jp)